

日根野中だより

令和6年2月5日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

本格的な「受験シーズン！」が始まりました…

～～～1・2年生のみなさん！3年生の姿をしっかり観ておこう！～～～

3年生の入学試験がスタートしました。先日行われた和歌山県私立高校入学試験…日根野中学校の仲間もチャレンジしました。ここから約一か月半、本格的な受験シーズンが始まります。クラスや学年の中でも、合格し進路が決定されていく人もいれば、まだまだ自分の進路に向かって努力し続けなければいけない人もいます…そう言ったアンバランスな状況が続きます。お互いの心配り…心通わさなければ、クラス・学年が本当につらい状況になってしまいます。ここからが正に、この学年の真価が問われます…。本当の勝負はここからです！

<この受験シーズンは、人生において 大変有意義な期間 だと思います…>

苦勞を乗り越え、喜びを味わうと、同時に見えてくるものがあります。この受験期…自分は「茨（いばら）の道」を孤独に歩んでいたと思っていたのが、実は背後に応援し、支えてくれていた家族や仲間の存在があった…暗闇の中、嵐の中を…もう一歩すら歩みを進めることができない、絶望に近い日々を経て、ふと振り返ると、前に向かって歩みを続ける力を誰かに与えられていた…こんなことを実感できる瞬間が必ず来ます…。

それこそが、そんなつらい経験の上でないと実感できない「有り難いという気持ち」…。本当の感謝の気持ちが、心の底から込み上げてくるのは、その時なのではないでしょうか…。

そんな意味からも、辛く苦しいこの受験シーズンを、どんな声かけをすれば、励まし乗り切る力を与え続けることが出来るのか？…また進路決定後、その辛かった経験を、どのように寄り添い、どんな話をすれば意味のあるものだったと、振り返ることが出来るのか…このようなことを考える大人存在…その支えがあれば、この辛く苦しい経験…「受験」こそ

目には見えない
友情や優しさ、愛など
大切なものはいろいろある…
かんじんなどは
目には見えない…すべて心で
見るもの…感じ取るもの…

「人間力を伸ばす最高の経験だった！」と自分自身が語れるようになるのではないのでしょうか…！朝は必ずきます…暗闇が続くことはありません…晴れの日はず必ず来ます…嵐ばかりが続くことはありません…。今が「ふんばり時！」…がんばっていきましょう！

<心の風景>

自分の道を進め…自分には自分に与えられた道がある…どんな道かは知らないが、ほかの人には歩めない、二度と歩めない、かけがえのないこの道…この道がよいのか悪いのか、思い悩むときもあるだろう…でも、所詮はこの道しかないことに気づくことになる…あきらめろと言うのではない…大事なものは、今立っているこの道、今歩んでいるこの道を休まず歩むこと…自分だけしか歩めない大事な道…それがたとえ遠い道に見えても、回り道に見えても、休まず歩むその姿からは必ず新たな道がひらけ、見えてくるはず…悩み多き3年生…今がふんばりどころだ！がんばろう！

<働く(はたらく)…とは？> 昨年度の新聞記事より

にんべんに「動」を合わせたこの文字は、中国伝来のものではない。日本で作られた国字に属している。もともとは「止まっていたものが動くようす」を言った。労働の意味で使われるようになったのは鎌倉時代だと言われている。いささか真偽は怪しいけれど、語源には落語のまくらに使われそうなしゃれた俗説もある。「傍（はた=周囲）を楽（らく）にする」というもので、年明けの今時分に思い出すことが多い。正月にゆっくりできない仕事がある。初売りに大忙しの店員さんに、駅員さんやタクシーの運転手さん…。こちらが傍でゆっくりさせてもらっているところ、額に汗して働く人たちがいる…。箱根駅伝の生中継に、観客の後ろを“激走”する宅配員さんが映った。折しも「花の2区（鶴見―戸塚）」…。選手が先頭争いを繰り広げる横で大きな段ボール箱を左手に提げ、配送の時間が迫っていたのか、空いた方の右腕を振って懸命に駆けていた。SNSで話題になり、ほのぼのとした余韻を残した。もちろんこの宅配員さんの「傍」には家族も含まれるだろう。自分だけのためには、そんなにがんばれない。働きますか？今年も…。

時代が進むにつれ、教師の置かれる立場も社会の中では大変難しくなってきたのが正直なところ…。若い先生方の大変さを、身近で見て痛感する毎日です。何かみんなのためにできないかと試行錯誤する毎日…。働き方改革と声高に叫ばれている今…何が働き方改革なのか？…と考えてしまいます。記事にあるような…普段なら見えていないものが見えた瞬間…人として心が動く…感じるものはあるはずです…感動！日本も捨てたものじゃない…。

特に3年生は今、自分のことで精一杯なのは十分にわかります。でも自分の周りで献身的に、傍(はた)を楽(らく)にするため、支えてくれている家族、先生の姿が見えてくるのも、正にこの時期だと思います…。しっかりと視線を上げて、懸命に働くその姿を、観ること・感じる…これは成長する上で、とても大切な気がします…。どうでしょうか？